

平成 22 年 7 月 23 日  
成田国際空港株式会社

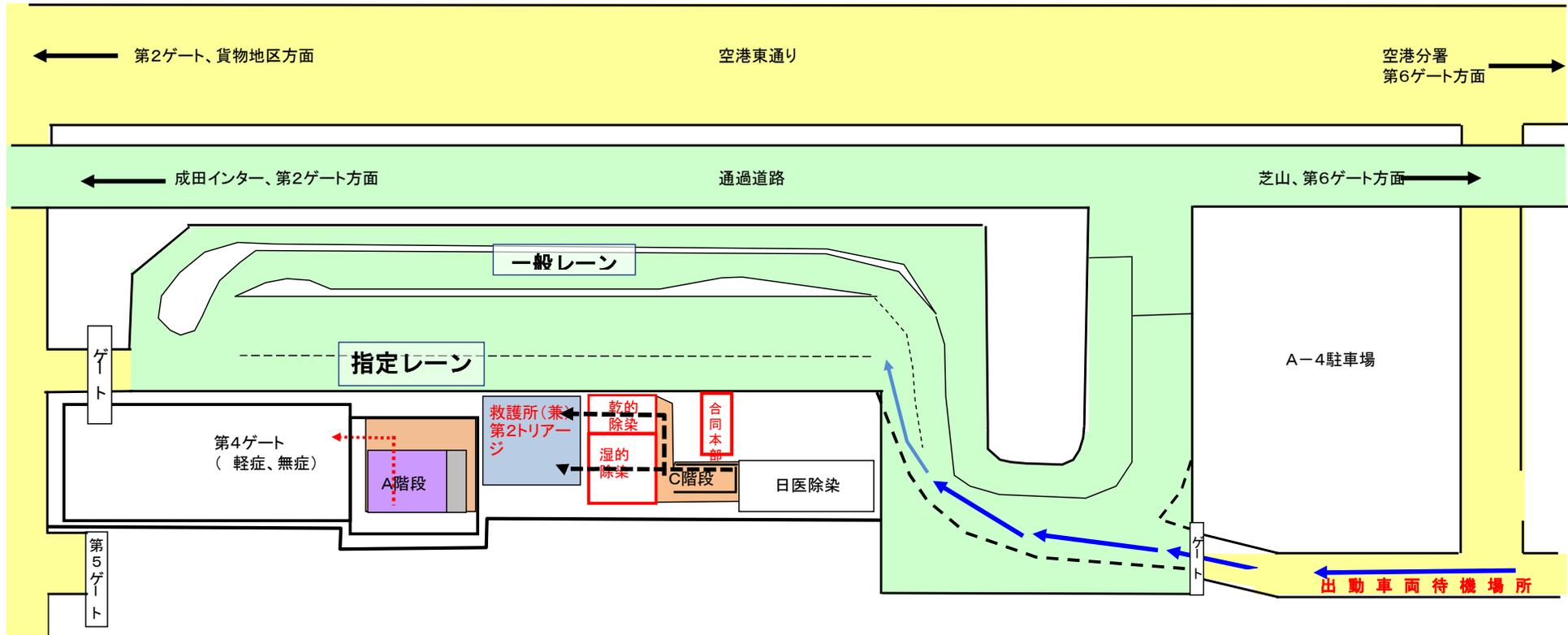
## 成田国際空港におけるテロ対策合同訓練

本年 11 月に首都圏で開催される APEC 首脳会議に向けて我が国における国際テロの脅威が高まりを見せる中、標的となる可能性が極めて高い成田国際空港において、より一層の対策強化が求められている。空港利用者の安全と、航空機・公共交通機関の円滑な運行の確保のため強固な警備を実施すると共に、BC テロ発災時の初動措置訓練を、空港内外の関係機関が一丸となって訓練を行う事により、連携強化と的確かつ効率的な手順の習熟を図り、BC テロ対策の万全を図るため、本訓練を下記のとおり実施します。

### 記

- 1 日 時 平成 22 年 7 月 27 日(火)10:00～11:20
- 2 場 所 京成東成田駅構内
- 3 主 唱 成田NBCテロリズム対策研究会(代表世話人:学校法人日本医科大学  
成田国際空港クリニック所長 赤沼 雅彦)
- 4 主 催 千葉県警察、成田市消防本部、成田国際空港株式会社
- 5 参加機関 主唱、主催を含めた 29 機関(医療、警察、消防機関及び航空会社等)
- 6 訓練想定 NAAホームページに「成田空港駅でテロを敢行する」旨の書き込みがあったことから、同駅で空港警察署員と駅員による巡回警備を行っていたところ、不審物を発見。ホーム上の客を避難誘導するも 10 時 05 分不審物が発煙、誘導に応じなかった数名が意識消失しその場に倒れこみ、同時に進入してきた列車から下車した乗客 9 名が体調不良を訴える事態となった。  
模擬負傷者数等は 100 名(警察、消防、医療機関、警備会社、AOC等)を予定。
- 7 訓練項目 ①連絡通報 ②千葉県警察、成田市消防本部及びNAFSの出動 ③各ゾーンの設定及び検知活動 ④電車乗客の退避及び駅利用者の誘導 ⑤意識消失者及び体調不良者の救出 ⑥空調の停止による汚染区域拡大防止 ⑦意識消失者及び体調不良者の除染 ⑧救護所の設営 ⑨医療関係者による救護活動の実施 ⑩電車乗客数、症状、医療機関への搬送状況等把握 ⑪担架及び救急車による搬送 ⑫汚染現場の除染 ⑬事故に係る各種警備及び規制 ⑭爆発物容疑物件処理
- 8 過去の実施状況
  - ① 平成 16 年 1 月 19 日 第 2 ターミナル国内線、サリンを想定
  - ② 平成 16 年 9 月 9 日 第 1 ターミナル4階、放射線物質を想定
  - ③ 平成 18 年 3 月 14 日 京成東成田駅構内、サリンを想定
  - ④ 平成 19 年 3 月 29 日 第 2 ターミナル 3 階、サリンを想定

地上階訓練区域図

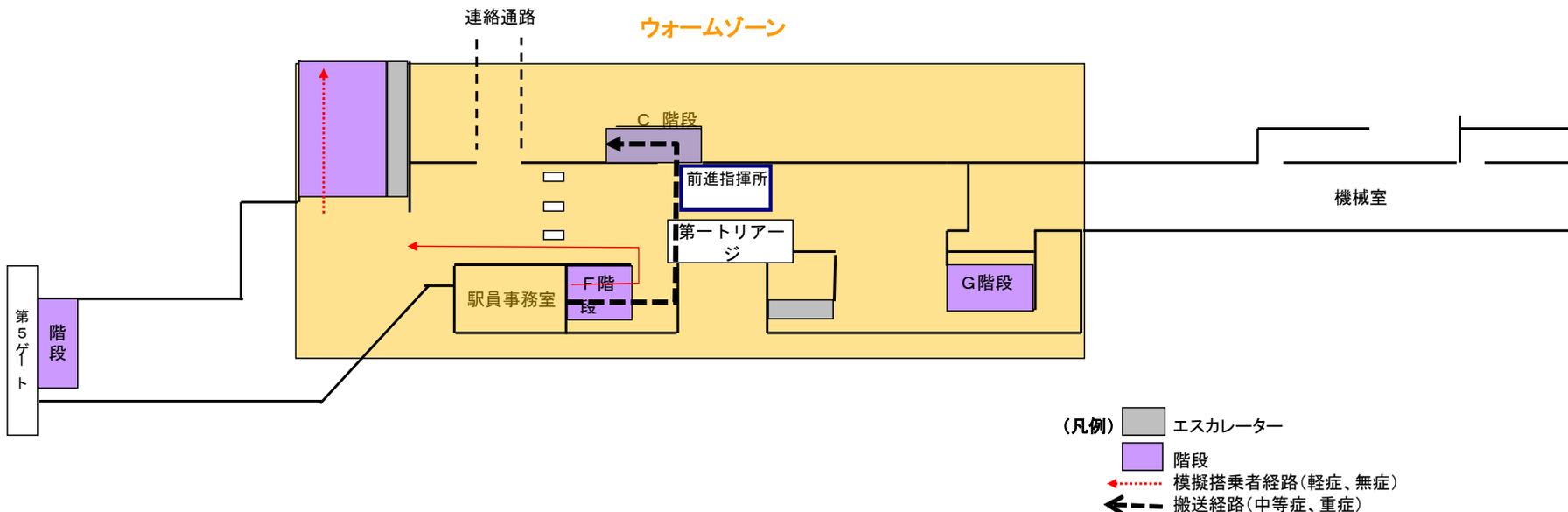


- (凡例)
- エスカレーター
  - 階段
  - ← 出動車両走行経路
  - ウォームゾーン
  - ← 模擬搭乗者経路(軽症、無償)
  - ← 搬送経路(中等症、重症)

(B1階)

別図第2

### コンコース訓練区域図



(B2階)

### ホーム訓練区域図

